

URL <http://aomori.lin.gr.jp>

畜産協会だより

Vol.21

発行
社団法人 青森県畜産協会

新年のご挨拶

社団法人青森県畜産協会
会長 渡部 毅

新年明けましておめでとうございます。

平成25年の年頭にあたり、協会員の皆様および関係者の皆様から昨年度賜りました協会業務の推進に係わる御支援、御協力に対し、厚くお礼申し上げます。

大震災から二年がたとうとしておりますが、現地での復旧作業は必ずしも順調に進んでいないということにおもはゆい思いがしております。被災にあわれた方々の一日でも早い復興を願うものです。

昨年暮れの衆議院選挙の結果、政権与党が代わり、新政権への期待感からか円安が進み株式も一万円台で推移するなど景気の回復が予兆される状況が続いておりますが、日々の暮らしの中でどのような具体的な政策を実施するのか注目していかなければなりません。新政権は選挙公約にTPPについては「聖域なき関税撤廃を前提にする限り交渉参加に反対」としておりますが曖昧な表現であり、この協定が締結されれば今後の日本農業の生産基盤の崩壊につながる事が想定され、今後、最も注目すべき事案の一つだと思われるので関係者とともに推移を見守り、協会としての対応もしていくつもりであります。

新年度を迎え、当協会も公益法人制度改革により新法人への移行申請をしております。順調に審査が進めば平成25年4月1日からは新しい法人としてスタートすることとしております。これに伴う業務の多角化など一層進めて参る所存であり、これまで以上に協会員の皆様を始め関係各位の一層の御協力をお願い申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

生産者補てん金 交付状況

○肉用子牛生産者補給金交付状況

品種区分		黒毛和種	褐毛和種	その他肉専用種	乳用種	乳用交雑種
保証基準価格		310,000円	285,000円	204,000円	116,000円	181,000円
合理化目標価格		268,000円	247,000円	142,000円	83,000円	138,000円
平成24年度 第2四半期 (7月～9月)	平均売買価格	402,100円	360,800円	108,900円	91,900円	210,500円
	交付単価	—	—	91,790円	24,100円	—
	交付額	—	—	3,763,390円	26,003,900円	—

○肉用牛繁殖経営支援事業支援交付金交付状況

品種区分		黒毛和種	褐毛和種	その他肉専用種
発動基準		380,000円	350,000円	250,000円
保証基準価格		310,000円	285,000円	204,000円
平成24年度 第2四半期 (7月～9月)	平均売買価格	402,100円	360,800円	108,900円
	交付単価	—	—	34,500円
	交付額	—	—	1,414,500円

○養豚経営安定対策事業 補てん金交付状況

	保証基準価格	枝肉平均価格	補てん金単価
平成24年度 第2四半期 (7月～9月)	460円/kg	458円/kg	120円/頭

○肉用牛肥育経営安定特別対策事業 補填金交付状況

	肉専用種	交雑種	乳用種	交付日
平成24年9月期	46,300円	111,100円	82,200円	11月26日
平成24年10月期	50,100円	113,000円	77,800円	12月25日

●おしらせ●

肉用牛肥育経営緊急支援事業 緊急支援金の返還請求について

スケジュール

①第5回返還請求について

平成24年10～12月期における販売異動及び請求月齢の超過があった個体に対し、平成25年2月末までに返還請求を実施する。

②第5回返還請求に係る返還金の返還及び返還計画の提出について

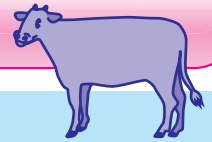
平成25年3月26日（予定）までを返還期日とする。

但し、第5回返還請求に係る返還金を全額返還する場合は、返還計画の提出は不要であり、返還期日までに返還が困難な場合に限り、返還計画を平成25年3月22日（予定）までに提出する。

※既返還請求における未返還分について、第5回返還請求と合わせ請求する。

お問合せ先 経営支援課 担当 TEL：017-723-2775

青森県家畜市場成績（七戸）



子牛 市場成績表 【開催日 24年10月12日】 <速報値>

1、販売価格 税込み【子牛】

品 種	性	今 回 分						前 回 分			Kg単価 増減	
		頭数	最高価格	最低価格	平均価格	平均日令	平均体重	Kg単価	頭数	平均価格		Kg単価
黒毛和種	雄											
	去	266	682,500	154,350	483,312	298	312	1,549	268	483,909	1,589	-40
	雌	183	772,800	228,900	382,395	309	286	1,337	194	381,572	1,357	-20
	【小計】	449	772,800	154,350	442,181	302	301	1,467	462	440,936	1,496	-29
日本短角種	雄											
	去											
	雌	1	55,650	55,650	55,650	337	297	187				
	【小計】	1	55,650	55,650	55,650	337	297	187				
乳用交雑種	雄											
	去											
	雌								1	131,250	523	
	【小計】	1	90,300	90,300	90,300	208	207	436	2	150,150	631	

・黒毛和種の取引頭数は536頭で、前回より去勢10頭増、雌1頭増、全体で11頭増となった。
 ・黒毛和種の平均価格は449千円で、前回より去勢46千円高、雌2千高、全体で28千円高となった。

2、主な種雄牛の販売価格 税込み【子牛】

名 号	去 勢					雌					合 計				
	頭数	平均価格	体重	単価	日令	頭数	平均価格	体重	単価	日令	頭数	平均価格	単価	日令	割合(%)
第1花国	107	499,496	313	1,594	297	80	385,311	290	1,329	311	187	450,647	1,486	303	41.7
安茂勝	35	461,460	314	1,469	296	25	359,856	285	1,265	308	60	419,125	1,389	301	13.4
北平安	15	450,380	309	1,457	303	8	371,700	299	1,245	327	23	423,013	1,385	312	5.1
第2花国	7	457,050	302	1,511	314	9	359,800	282	1,277	312	16	402,347	1,384	313	3.6
安福久	7	490,950	314	1,561	311	8	460,950	276	1,673	314	15	474,950	1,617	312	3.3
百合茂	10	563,535	321	1,756	296	4	435,225	293	1,485	321	14	526,875	1,683	303	3.1
総合計	266	483,312	312	1,549	298	183	382,395	286	1,337	309	449	442,181	1,467	302	100.0

・最も取引頭数の多かった種雄牛は「第1花国」で41.7%、次いで「安茂勝」13.4%となった。
 ・第1花国の平均価格は451千円で、前回に比べ1千円高となった。単価は1,486円で前回より31円安となった。

【開催日 24年11月9日】 <速報値>

1、販売価格 税込み【子牛】

品 種	性	今 回 分						前 回 分			Kg単価 増減	
		頭数	最高価格	最低価格	平均価格	平均日令	平均体重	Kg単価	頭数	平均価格		Kg単価
黒毛和種	雄											
	去	304	786,450	84,000	502,166	294	313	1,607	264	482,956	1,549	58
	雌	197	978,600	212,100	398,531	305	282	1,411	183	382,395	1,337	74
	【小計】	501	978,600	84,000	461,415	299	301	1,534	447	441,787	1,467	67
日本短角種	雄											
	去	5	152,250	116,550	145,110	244	249	584				
	雌								1	55,650	187	
	【小計】	5	152,250	116,550	145,110	244	249	584	1	55,650	187	397

・黒毛和種の取引頭数は501頭で、前回より去勢40頭増、雌14頭増、全体で54頭増となった。
 ・黒毛和種の平均価格は461千円で、前回より去勢19千円高、雌16千円高、全体で20千円高となった。

2、主な種雄牛の販売価格 税込み【子牛】

名 号	去 勢					雌					合 計				
	頭数	平均価格	体重	単価	日令	頭数	平均価格	体重	単価	日令	頭数	平均価格	単価	日令	割合(%)
第1花国	155	519,438	317	1,638	296	74	401,199	289	1,389	307	229	481,230	1,563	300	45.7
安茂勝	31	498,818	321	1,553	296	27	370,611	287	1,292	297	58	439,135	1,439	297	11.6
北平安	12	477,925	320	1,494	303	9	378,933	282	1,344	304	21	435,500	1,434	304	4.2
第2花国	8	427,088	289	1,480	287	11	345,164	263	1,311	316	19	379,658	1,386	304	3.8
安福久	7	517,200	303	1,709	290	10	586,425	284	2,063	299	17	557,921	1,912	296	3.4
茂洋	8	540,488	323	1,675	304	4	386,925	262	1,475	303	12	489,300	1,617	304	2.4
総合計	305	501,724	313	1,605	295	196	398,314	282	1,410	305	501	461,269	1,534	299	100.0

・最も取引頭数の多かった種雄牛は「第1花国」で45.7%、次いで「安茂勝」11.6%となった。
 ・第1花国の平均価格は481千円で、前回に比べ31千円高となった。単価は1,563円で前回より77円高となった。

次回開催日は12月7日（金）です。

和牛の祭典！全国和牛能力共進会 長崎県大会



第10回全国和牛能力共進会の最終比較審査が10月25日～29日の5日間、長崎県佐世保市のハウステンボスをメイン会場に開催された。「和牛維新！地域で伸ばそう生産力、築こう豊かな食文化」と題した今大会は、9つの出品区に38道県から480頭が出品され、本県からは全区に26頭（種牛18頭、肉牛8頭）出品した。本県の成績は、第4区（系統雌牛群）において優等賞6席、第8区（若雄交代検定牛群）において優等賞7席を受賞、特別賞として第4区は「乳徴賞」、第8区

は「歩留賞」を受賞した。また、3日目に行なわれた和牛審査協議会では高校生の部で県立三本木農業高校の生徒が見事最優秀賞を受賞した。

県ブースでは県基幹種雄牛である優福栄や第2花国などのパネル展示やパンフレットを配布し全国に県産牛のPRを図った。

青森県産 日本短角牛PRイベント開催

10月9日、青森市において日本短角牛販路開拓イベントを開催した。県内スーパーのバイヤーら約30人を対象に、日本短角牛の歴史や特異性、世帯構成から見た食肉販売戦略などについての講演と試食会を行なった。放牧適性や粗飼料利用性が高い短角牛は高騰する輸入飼料に頼らないで飼養できることをPR。続いて短角牛を使った家庭で簡単に作れるレシピをテーマに県栄養士会の方が考案した3品を試食した。ヘルシーで赤身主体の短角牛を活かしたレシピはバイヤーにも好評だった。

また、11月14日には十和田市のスーパーカケモにおいて日本短角牛の試食販売フェアを行なった。同スーパーは日本短角牛の消費拡大に力を入れており、「30年前までは十和田市一帯は日本短角種の一大産地だった。それが今は飼養農家も頭数も激減してしまった。この現状を市民にも分かってもらって応援してもらいたい」と今回短角牛1頭分を仕入れ十和田市内4店舗で販売した。西金崎店で買った試食販売では、B級グルメで有名な十和田バラ焼きで買い物客らに提供しPRを図った。



青森シャモロック&あおり短角牛をPR

12月8日及び9日、県観光物産館が主催する「あおり満喫フェア」において県の特産畜産物である「青森シャモロック」と「あおり短角牛」の消費拡大イベントを実施した。

アスパム正面の特設会場において青森シャモロック鍋の販売を実施し、来場者は雪の降る中温かい地鶏鍋を堪能した。アスパム内のイベントホールには、あおり短角牛と青森シャモロックの販売ブースを設け、精肉やシャモロックスープなどの販売を行った。スーパーマーケット等ではなかなか購入できない肉とあって、ブースは盛況であった。二日間で約7,300名が来場した。



価格安定基金 東北・北海道ブロック協議会 開催



子を視察した。午後からは畜産物価格安定基金協会北海道・東北地域連絡協議会が開催され、養豚経営安定対策事業における状況や要望等について情報交換を行った。

10月31日及び11月1日の二日間にわたり、2つの東北・北海道ブロック協議会が岩手県盛岡市で開催された。

10月31日は肉用子牛価格安定基金東北・北海道ブロック協議会が開催され、各道県の肉用子牛生産者補給金制度の状況と東日本大震災による影響や現在の状況を情報交換したほか、制度における課題、要望事項等について意見交換を行い、特に日本短角種の各道県における取り組み状況や今後の短角振興について、活発に議論がなされた。11月1日の午前中には、全農いわて中央家畜市場で短角牛市場を訪れ、岩手県の短角市場の活発な様子

テトラック十和田で畜産フェアを開催



ダービーグランプリ栗駒賞が開催された11月25日、十和田市にあるテトラック十和田で競馬ファン拡大と青森県産畜産物の消費拡大を図るため、県産畜産物（有限会社斗南丘牧場のむヨーグルト、十和田湖ふるさと活性化公社 奥入瀬のむヨーグルト）を先着200名の方に無償配布した。

この事業では、普及啓蒙活動の一環として例年10月上旬に盛岡競馬ツアー等を開催している。

十和田地域エコフィード推進協議会 先進地視察へ



11月20～21日、十和田地域エコフィード推進協議会はエコフィードの先進地事例調査のため札幌市を訪問した。札幌市は平成6年に資源のリサイクル事業に着手し、3カ年事業として約19億円の事業費を投じ札幌リサイクル団地を建設した。団地のリサイクル施設は、事業系廃棄物の処理とリサイクルを行う中間処理施設群が立地し、民間処理業者・第3セクター・札幌市が建設・運営しており、行政と民間が連携をとり地域全体で取り組んでいる先進的な事例である。

20日は札幌市役所を訪問し、市が取り組んだリサイクルシステム構築について聞き取り調査を行った。21日は同市リサイクル団地でエコフィード製造を行う三造有機リサイクル株式会社を訪問し、油温減圧式乾燥装置によるエコフィード生産を視察した。

視察内容は当協議会へ報告し検討を図る。また、3月中旬にエコフィードシンポジウムの開催も予定されている。

秋の予防接種 始まる

11月、新郷地区・五戸地区において、秋の予防注射が行われた。佐藤獣医師、役場、農協の担当者と共に生産者の巡回を実施した。この地域は予防対策の徹底のため牛IBR5種混合予防注射は、子牛に1ヶ月齢時と4～5ヶ月齢時の2回接種を実施している。

また、今回は購買者の方々が安心して購買・飼育できるよう平成25年1月から青森県家畜市場へ上場する牛にヘモフィルスワクチンが義務付けされた事について周知を図った。



五戸町営ブドロク放牧場周年預託施設完成



五戸町倉石地区にある町営ブドロク放牧場は、地域の畜産農家の規模拡大や肉用牛の地域内一貫生産を推進するため平成20年から草地整備や施設整備に取り組んできたところであり、このたび完成した。

施設整備の中で特徴的な施設としてキャトルセンター（繁殖牛の預託センター）があげられる。同施設は冬期間も黒毛和種の繁殖牛を中心に最大100頭を預託できる周年施設として平成25年春から供用を開始する。施設の管理は町からの業務委託を受けた五戸畜産農協が行うこととしている。

下北肉用牛女性の会 勉強会開催

下北地域の畜産経営に携わる女性を中心とした勉強会が、むつ市と大間町で開催された。会には関係者を含め総勢50名が出席し、優良素牛の飼育等について講習を受けた。講師に全国畜産農業協同組合連合会 東北支所長の岩下淳一氏を招き、県内の種雄牛を用いた有効な交配方法や、肥育農家を選ぶ仔牛の特徴などが講演された。後半は長崎県で行われた全国和牛能力共進会の報告会で、下北の出品牛の活躍ぶりが報告され、5年後の全共へ向けて準備を始めようと話し合われた。



第2回三八地域ブランド牛技術向上研修会

12月26日、三八地域県民局地域農林水産部畜産課は、管内の黒毛和種ブランド牛「あおり倉石牛」「三戸・田子牛」「田子牛」の肥育技術向上のため、五戸町倉石において肥育生産者等を対象とした研修会を開催した。今回で2回目の開催となる。

同課が実施する三八・上北地域ブランド牛生産力強化事業において実施した肥育牛のビタミンA及び代謝プロファイルテスト検査成績を基に、八戸家畜保健衛生所職員からの個別指導、意見交換などが行われた。管内の肥育技術は県内でも高く、生産者らもより高く売れる牛づくりを目指して熱心に聞き入っていた。第3回目の勉強会は2月に開催する予定。

中央畜産会刊行図書のご案内

月刊誌「畜産コンサルタント」
(毎月1日発行)

2013年用 畜産手帳
CHIKUSAN DIARY 2013



創刊以来40年以上、畜産総合誌として数々の話題、問題の提起をしてきました。経営、技術、流通、時事など、毎月特集を組み問題点の掘下げと追求を行い豊かな内容とわかりやすい情報を提供しています。

【価格】

1部	定価 945円(税込み) + 送料 100円
6ヶ月	6,270円(送料込み)
年間	12,540円(送料込み)



- 仕様 高級発泡シート(ポケット付き)
- サイズ 140mm×80mm
- 価格 860円(消費税込)
- 10冊～99冊の一括注文の場合780円
- 100冊以上の一括注文の場合690円
(送料は1冊200円、複数冊320円)

■主な掲載内容

- 中央官庁・地方庁・団体・会社・道府県畜産会等の住所録
- 畜産各種統計・主要国の家畜生産状況
- 家畜繁殖関係(受精・妊娠等)
- 家畜改良増殖目標
- 飼養管理、飼料、営農、生産物
- 畜産物の取引規格
- その他関係資料

ご注文、問合せは総務課まで TEL 017-723-2523



インフォメーション



第6回あおもり堆きゅう肥品評会 表彰式を開催します！

開催日時：平成25年1月30日（水）13：00～15：30

開催場所：ラ・プラス青い森（青森市中央1-11-18）

内 容：良質堆肥生産者の表彰

当日は、「安全・安心な農産物生産推進大会」が引き続き開催されます。

講演「GAPの必要性を再認識し、より安全・安心な農産物生産を実践しよう！」

講師 NPO法人日本GAP協会 専務理事兼事務局長 武田 康明 氏

Jr. 野菜ソムリエのSです。畜産と野菜をお寄せた情報をお届けします。



Jr. 野菜ソムリエSさんの チクサンと野菜のマリアージュ

豚肉の中華風唐揚げ

ユウリンチーの豚肉バージョンです。

ニラと豚肉はどちらも疲労回復や風邪の予防に良い食材です。

是非これからの時期食べて下さい。



※材 料※

豚小間切れ 150g
塩・胡椒 少々
片栗粉 大さじ2

●たれ
ニラのみじん切り 大さじ3
ネギのみじん切り 大さじ3
醤油 大さじ2
酢 大さじ2
ごま油 大さじ1

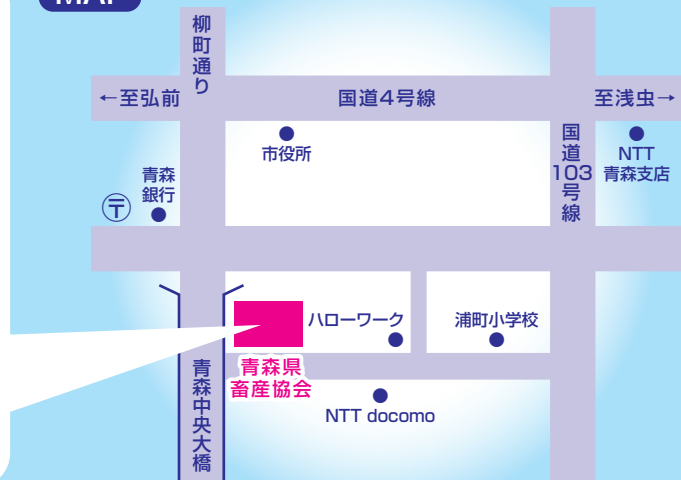
お好みで、しょうが・ハチミツを入れてもgood!!

- ①豚肉に塩・胡椒、片栗粉をまぶし、一口大の大きさに丸める。
- ②170度に熱した揚げ油に入れて揚げる。(カリカリ)
- ③●の材料を混ぜ合わせ、ソースを作る。
- ④レタスを千切りにして皿にしき2の豚肉のをせ3のソースをかける。

ビルの上にいる牛が目印です。



MAP



社団法人 青森県畜産協会

〒030-0822 青森県青森市中央二丁目1番15号(畜連ビル)

総務課 Tel(017)723-2523(代)
経営支援課 Tel(017)723-2775

価格安定・衛生課 Tel(017)722-4331(衛生)
Tel(017)718-3809(価格)

FAX (017)731-1196

URL <http://aomori.lin.gr.jp> E-mail info@aomori.lin.gr.jp